

CREATING NEW VALUE

想像を越える、価値と品質を

# ステリテナー<sup>+</sup> プラス™ 用途事例集

## 現状

ガラス容器やステンレスタンク等で少量の培地やバッファー、原薬などを攪拌調整している。

## 課題

- ・容器やタンクの洗浄、滅菌工程が必要。
- ・丁度良い大きさのタンクがない(10%の培地を作るのに50Lのステンレスタンクを使用等)。
- ・ハードボトルの場合は空容器の在庫のスペースが必要で、アイソレータ等の狭いエリアでは使いにくい。
- ・2Dバッグでは攪拌できないため、シングルユース化をあきらめていた。

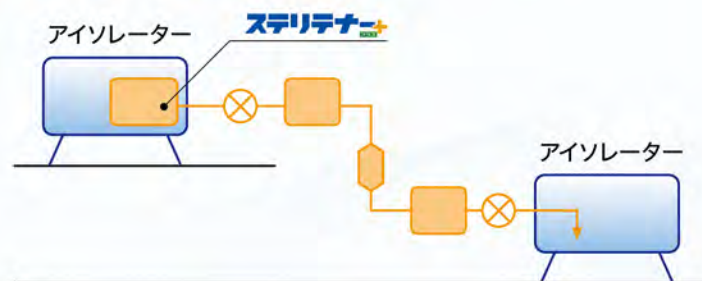
## after

ステリテナープラスは、3D形状によりの容器単独で自立可能。  
口部は着脱できるので、ガラス容器と同じように  
マグネチックスターラーでの攪拌・調整が可能。



## 検討事例

高薬理活性注射剤の粉体原薬を  
アイソレータ内で調整



スターラーでの攪拌



口部は着脱可能



## 事例対象

アイソレータ等の狭い空間での調整(抗がん剤メーカー、自動培養装置メーカー等)

# ボトル充てん前の一時貯留(培地メーカー)

現状

ステンレスタンクで培養後、2Dバッグに一時的に貯留し、分注工程へチューブ接続して送液。

課題

- ・2Dバッグを載せる架台が大きく狭いスペースでの取り回しがしにくい。
- ・液排出の際の吊り下げの際、20kgを持ち上げるのは負荷が大きい。
- ・外装梱包も大きく、空容器の保管場所を取る。
- ・容器コストが高く、納期も不安定。

課題

スペース、作業性

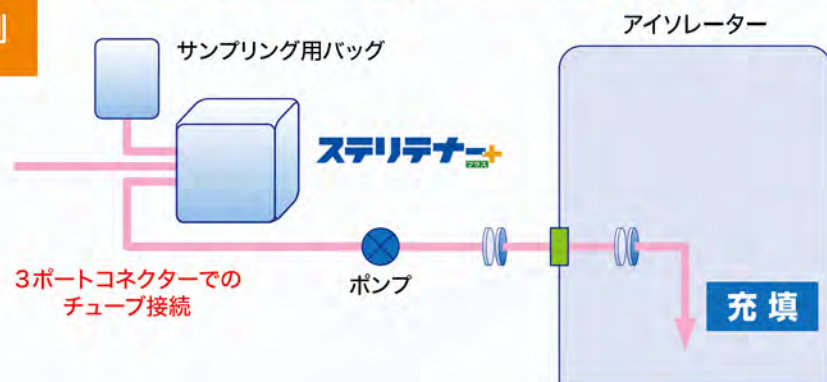


after

ステリテナープラスをRICに入れて  
3ポートコネクタでチューブ接続することで省スペース化

検討事例

分注前の貯留用途(原稿は2Dバッグ)



事例対象

培地等の分注前の一時貯留(培地メーカー等)

## 現状

原薬のサイト間輸送のため、ガラス容器を重梱包して冷蔵輸送している。

## 課題

- ・2Dバッグは輸送できないため、仕方なくガラス容器に緩衝材を詰め込んだコンテナで輸送していた。荷扱いによっては破損事故もある。
- ・大容量のガラス容器は割れやすいため、小型容器に分注していた。
- ・事前にオートクレーブにて滅菌が必要、充填も1本ずつ手作業で手間がかかる。

## after

ステリテナープラスをRICに入れて3ポートコネクタでチューブ接続し、ペリスタポンプで充填した後そのまま輸送。

課題

重梱包の手間



## 検討事例

### 固形製剤の原薬を外部の委託先へ冷蔵輸送(外装はドラム)



充填後にコネクタをキャップに付け替えてRICごと輸送。先方であらかじめ渡しておいたチューブ付きコネクタを取り付けて液を排出。

## 事例対象

外部の委託先との少量品の輸送(バイオ医薬開発部門等)

## 現状

精製プロセスなどでの廃液の貯留用に2Dバッグまたは、ハードボトルを使用している。

## 課題

- ・クリーンエリア内で使用するため滅菌済みのバッグが必要。  
滅菌バッグが必要な理由=エアロ汚染のリスク。  
接続チューブを介しての機器内の汚染リスクを排除するため。
- ・ハードボトルは事前にオートクレープにて滅菌が必要。
- ・2Dバッグの場合は設置スペースの問題あり

## 課題

### 汚染リスク



## after

ステリテナーを3ポートコネクタでチューブ接続しての使用を検討。

## 検討事例

### 精製プロセス 廃液用バッグ



バイオリアクター



## 事例対象

無菌室やCPC(細胞加工施設)等での廃液貯留容器として(製薬メーカー、大学CPC)

## 現状

培地ボトルへの分注前の貯留容器として、ハードボトルを使用している。

## 課題

- ・ハードボトルの場合、ボトルの洗浄、滅菌に工数がかかっている。
- ・空容器の保管スペースが必要。
- ・安全キャビネット内は狭いため、高さのあるハードボトルは作業がしづらい。
- ・ハードボトルは閉鎖系接続ができない。

## 課題

## 空容器の保管

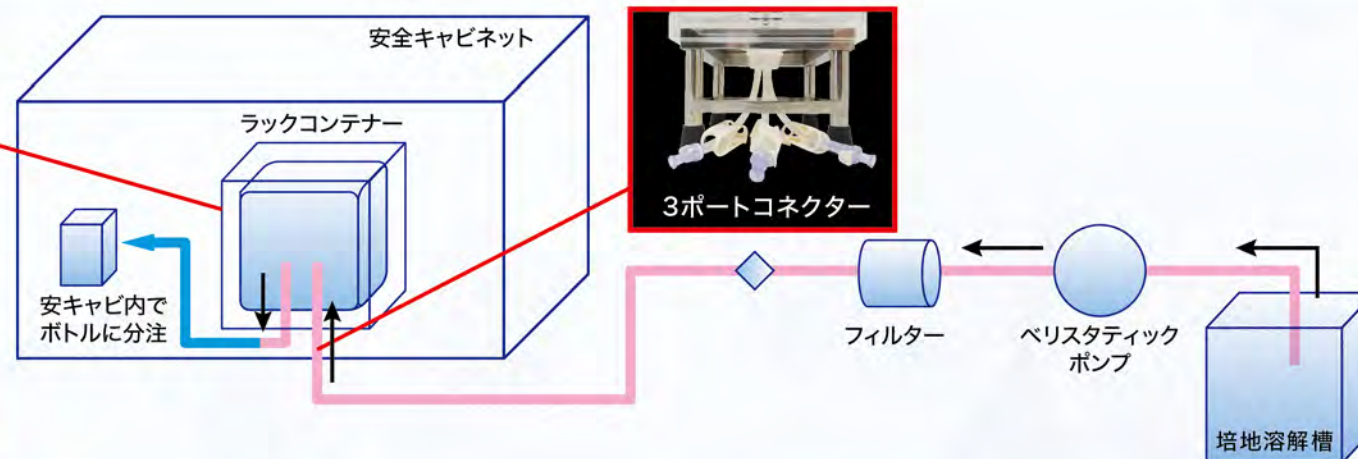


## 検討案

ステリテナーとオプションのアクリルケース+架台で省スペースで設置。  
チューブセットを使用することで閉鎖系接続が可能

## 検討事例

### 分注用貯留容器



## 事例対象

培地等をボトルへ分注する用途(再生医療用培地メーカー等)

現状

バイオリアクターへの培地供給用に、20Lの2Dバッグを使用している。

課題

・手狭な研究室のスペースでは設置場所を取り、取り回しも大変。

after

- ・ステリテナープラス+反転式ラック(オプション)で省スペースを実現。
- ・3ポートコネクタASSYを使用することで閉鎖系接続を実現。

課題

スペース、作業性

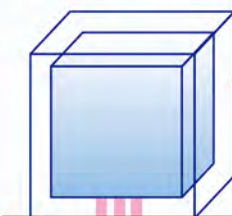


検討事例

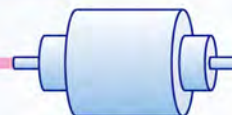
バイオリアクターへの培地供給



ステリテナー+



反転式ラック



ろ過フィルター



無菌コネクタ



バイオリアクター

事例対象

WAVEバイオリアクターの使用ユーザー

お問い合わせ先

## ブロー事業部

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番9号（古河大阪ビル西館7F）

**TEL.06-6837-0678**    **FAX.06-6347-0597**

**e-mail : [steritainer@sekisui.com](mailto:steritainer@sekisui.com)**

---

## 東日本ブロー営業所

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地（住友商事神田和泉町ビル4F）

**TEL.03-6837-0302**    **FAX.03-3865-5652**

---

## 西日本ブロー営業所

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番9号（古河大阪ビル西館7F）

**TEL.06-6347-0666**    **FAX.06-6347-0636**